わたり議会だより

平成24年8月1日
116号
2012

6月定例会
4月臨時会

復興に向けて本格始動 195億円を増額補正 ―― 3
町に企業進出 土地売買契約を結ぶ ―― 4
町政のここが聞きたい〈9人が一般質問〉 ―― 6

みんなで一緒に健康タイム（舘南仮設）

6月定例会は6月13日から6月18日までの6日間の会期で開催されました。

町から提出された議案は、平成24年度亘理町一般会計補正予算など14件で、いずれも慎重審議の結果すべて原案どおり可決しました。

亘理町災害危険区域条例

住民に対する説明と理解を

提案理由　災害危険区域の指定と建築の制限に関する条例を制定するものです。適用除外は以下の施設となっています。ホテル・旅館等の宿泊施設、医療施設・福祉施設等の建築物、多人数を収容する公共建築物で町長が必要と認めるものです。

（賛成12人、反対5人）

鈴木高行議員　危険区域に建物を作ることは矛盾している。構造物は自然劣化し安全を保障できない。三陸地方の現況を見れば明らかではないか。

復興まちづくり課　全てを規制すると地域のまちづくりに支障ができてしまいます。建築物は国の安全基準を満たすものであって、地域内の経済的な部分、土地の再利用の点から提案したものです。

反対討論

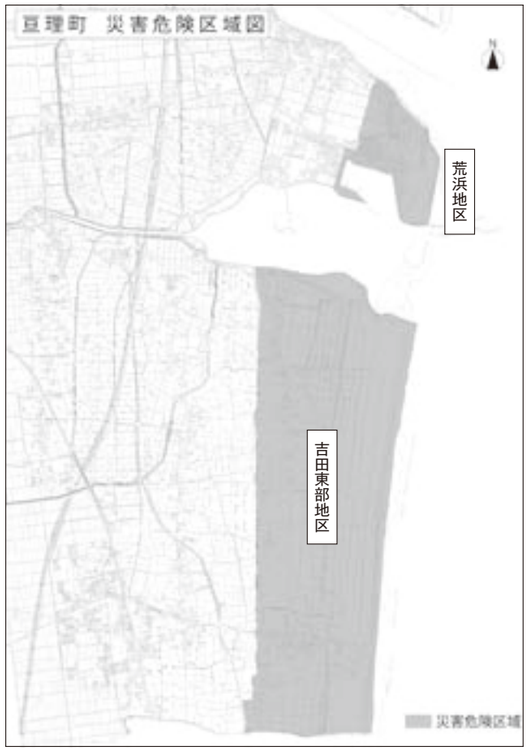
髙野孝一議員

津波の教訓は逃げることです。公共・医療・福祉施設の建物は建築すべきでないと考えて反対する。

賛成討論

島田金一議員

安全を確保するため構造上、強度に厳格な規制を設け、建築してもよいということから賛成する。



亘理町　災害危険区域図

災害危険区域

建築基準法第39条により、地方自治体は津波、高潮、取水等による危険の著しい区域を災害指定区域に指定することができる。

町営住宅条例の一部改正

提案理由　町営住宅の入居者に関する資格等の規定を改正するものです。

入居者の資格は介護を必要とする方が事実上親族とみなせる方と同居する場合、また単身者の場合は婚約者が存在することです。

入居資格の特例は常時の介護を必要とし、介護を受けることが困難であると認められる方。60歳以上の方・障害者基本法・配偶者暴力防止等法・被災市街地復興特別措置法等に適用される方です。**（全員賛成で可決）**

鈴木高行議員　今回の改正の背景は、単身者でも介護する人があれば入居可能か。

都市建設課　介護の程度、障害の程度によって入居は可能となります。申し込みがあった場合は直接本人または家族の方とお会いして対応していきます。

震災被災者に対する国民健康保険税の減免

提案理由　震災関連被災者については今年の9月まで、原子力災害避難者については一年間を期限として減免条例を制定するものです。

（全員賛成で可決）

鞠子幸則議員　昨年の減免額はいくらか。

健康推進課　昨年は2億4800万円ぐらいです。

震災復旧・復興に向けて本格始動!!

一般会計195億9,000万円を追加

提案理由　東日本大震災に関する復興交付金の第2回配分による増額補正が主なものです。

（全員賛成で可決）

熊田芳子議員　子ども見守り隊の今後の在り方は。

生涯学習課　新しく子ども見守り隊員の名簿を作成し、町民の方からご協力を求めたいと考えています。

鞠子幸則議員　復興推進会議の委員のメンバー構成は。

企画財政課　町民の関係者5人、産業関係者4人、町議会から2人、農業委員会から1人の予定です。

鞠子幸則議員　災害危険区域外の方が移転する場合、町独自の支援策（利子補給）はあるのか。

復興まちづくり課　災害危険区域外から移転する方は事業の対象外であり、町独自で支援すると約48億円が必要であることから難しいと考えています。

通学時の安全を見守る子ども見守り隊

鈴木高行議員　ハザードマップの作成には住民の意見を反映すべきと思うがどうか。

総務課　大震災を踏まえた上での見直しであるので、町民の声を十分反映させて策定したいと考えています。

佐藤アヤ議員　スマートインターチェンジの利用開始は。

企画財政課　平成26年度の開通を目標にしています。

佐藤アヤ議員　空間放射線量の公開と今後の事業計画はあるのか。

総務課　7月中旬に測定を完了して、8月には講演会を開催、9月上旬に地区説明会を開催する予定です。

鈴木邦昭議員　仮設住宅前広場の整備計画は。

被災者支援課　公共ゾーンではゲートボール場2面と、ベンチ、花壇、砂場を整備する予定です。

平成24年度6月補正予算の主な事業

	（千円）
・常磐自動車道スマートＩＣ整備事業	44,273
・各小中学校エアコン等設置工事	6,228
・空間放射線量メッシュ調査・あぶくま公園除染事業	59,095
・花卉・野菜団地造成事業	493,755
・いちご選果場整備事業	78,918
・防災集団移転促進事業	3,836,751
・避難道路新設・整備事業	547,000

6月定例会では任期満了に伴う選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙が行われ、議長の指名推薦の上、全員賛成で推薦されました。

任期は平成24年6月30日から4年となります。

選挙管理委員

高倉（たかくら）　豊（ゆたか）氏（南城東）
菊地（きくち）　正博（まさひろ）氏（中町）
小野（おの）　喜久（よしひさ）氏（新丁）
奥原（おくはら）　隆則（たかのり）氏（早川）

補充員

木口（きぐち）　巌夫（いわお）氏（蕨）
小松（こまつ）　武彦（たけひこ）氏（駅前東）
武者（むしゃ）　清一（せいいち）氏（新町北）
田原（たはら）　洋子（ようこ）氏（旭台）

4月臨時会

4月臨時会は4月19日に開催されました。

会期は1日で、町長から土地売買契約の締結についてなど9件が提出され、慎重審議の結果すべて原案のとおり可決しました。

町有地約1.1ヘクタール1億1千万円で売却

提案理由　亘理町字北新田の町有地約1.1ヘクタールを東京機材工業株式会社（東京都）に1億9030万円で売却するものです。

（全員賛成で可決）

鞠子幸則議員　企業が雇用する従業員は地元を優先する申し入れと、企業の都合で撤退する場合の条件は。

企画財政課　地元中心に現在募集しているそうです。また下請企業の臨時職員を正規雇用するそうです。

土地については、転売禁止の規制をかけていますが、いずれにしても事前に町と協議をして決めることになっています。

高野進議員　工場の東側は柴町、高屋地区になる。農地や鐙川排水路等もあり、工場からの排水や排気による汚染の心配はないか。

企画財政課　鐙川の地域は定期的に町が水質検査を実施しています。企業は濁水処理機を設置して検査する体制です。燃焼する設備はないので空気汚染はないと考えます。

町と土地売買契約を結んだ東京機材工業株式会社

補正予算

災害対策費 6億5千万円

提案理由　東日本大震災復興交付金一次申請分の確定等に関連して増額補正するものです。

（全員賛成で可決）

防災集団移転

鈴木高行議員　防災集団移転事業の対象となる方々に、今後、町としてどのように推進するのか。譲渡価格、既存宅地買入れ価格、集合住宅入居料等詳細な説明をして、合意形成を図る必要がある。早く町の事業計画を示すべきでは。

復興まちづくり課　現在個別面談を通し、今後の移転先について合意を得る作業をしています。その後実施計画を作成し、国土交通大臣の同意を得て、宅地造成となり、対象者への助成制度も示します。現時点では7月から8月に大臣同意を得る予定です。

いちご団地

佐藤正司議員　いちご団地といちごファーム造成事業の内容と水田の除染対策用塩化カリウムの散布について。

農林水産課　いちご団地は全体で3団地70ヘクタールを造成する予定です。地権者の90％の同意を得ています。いちごファームは2ヘクタールです。塩化カリウムの配布は、作付面積1745ヘクタール分で、10アール当り20kgを目安に配布予定です。

放射能対策

高野孝一議員　放射能除染実施区域指定事業で、あぶくま公園の除染と、給食センターの食品検査の具体的な内容は。

総務課　あぶくま公園の除染は、スポット的に先行して実施するものです。食品検査室の稼動は5月中旬になります。

学務課　給食センターでは検査機器を購入する準備をしていますが、数が少なく少し時間を要します。調達でき次第すぐ検査を実施します。

食品放射能測定室

請願・陳情

内容	提出者	対応
「国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律」の成立を強く非難し、その即時廃止を求める要望書	東北大学職員組合執行委員長 駒井三千夫	配布
生活再建に至らない東日本大震災被災者の医療費自己負担免除の継続を求める陳情書	宮城県保険医協会理事長 北村　龍男	配布

平成24年4月　第8回臨時会　議案等の審議結果

○：賛成　×：反対　議：議長　欠：欠席　退：退席　除：除斥　無記名投票：無記名投票

※議長は採決に加わりません。

議案等番号	件名	議決月日	出席者数	表決者数	賛成	反対	議決結果	1 鈴木洋子	2 高野孝一	3 熊田芳子	4 小野一雄	5 佐藤正司	6 安藤美重子	7 百井いと子	8 鈴木高行	9 鈴木邦昭	10 渡邉健一	11 四宮規彦	12 高野進	13 熊澤勇	14 佐藤アヤ	15 島田金一	16 鞠子幸則	17 佐藤實	18 安細隆之
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（亘理町町税条例の一部を改正する条例）	4.19	17	16	16	0	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（亘理町都市計画税条例の一部を改正する条例）	4.19	17	16	16	0	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（亘理町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	4.19	17	16	16	0	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度亘理町一般会計補正予算第11号））	4.19	17	16	16	0	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度わたり温泉鳥の海特別会計補正予算（第4号））	4.19	17	16	16	0	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議
議案第40号	亘理町損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利放棄に関する条例	4.19	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議
議案第41号	土地売買契約の締結について	4.19	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議
議案第42号	平成24年度亘理町一般会計補正予算（第1号）	4.19	17	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	議
報告第1号	専決処分の報告について（賠償額の決定及び和解）	4.19	17				報告受理															欠			議

平成24年6月　第9回定例会　議案等の審議結果

議案等番号	件名	議決月日	出席者数	表決者数	賛成	反対	議決結果	1 鈴木洋子	2 高野孝一	3 熊田芳子	4 小野一雄	5 佐藤正司	6 安藤美重子	7 百井いと子	8 鈴木高行	9 鈴木邦昭	10 渡邉健一	11 四宮規彦	12 高野進	13 熊澤勇	14 佐藤アヤ	15 島田金一	16 鞠子幸則	17 佐藤實	18 安細隆之
議案第43号	亘理町一般職の任期付職員の採用等に関する条例	6.18	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第44号	住民基本台帳法等の改正に伴う関係条例の整理に関する条例	6.18	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第45号	東日本大震災による被災者に対する亘理町国民健康保険税の減免に関する条例	6.18	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第46号	亘理町町営住宅条例の一部を改正する条例	6.18	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第47号	亘理町災害危険区域に関する条例	6.18	18	17	12	5	原案可決	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	議
議案第48号	工事請負契約の締結について（平成23年度社会資本整備総合交付金事業　町道亘理浜吉田線道路改良工事（繰越））	6.18	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第49号	土地の取得について（割山採取場用地拡大事業）	6.18	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第50号	平成24年度亘理町一般会計補正予算（第2号）	6.18	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第51号	平成24年度亘理町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	6.18	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第52号	平成24年度亘理町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	6.18	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第53号	宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	6.18	18	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
報告第2号	繰越明許費繰越計算書について（平成23年度亘理町一般会計予算）	6.18	18				報告受理																		
報告第3号	繰越明許費繰越計算書について（平成23年度亘理町公共下水道事業特別会計予算）	6.18	18				報告受理																		
報告第4号	繰越明許費繰越計算書について（平成23年度わたり温泉鳥の海特別会計予算）	6.18	18				報告受理																		
選挙管理委員及び補充員の選挙 ・委員 高倉　豊 氏、菊地　正博 氏 小野　喜久 氏、奥原　隆則 氏 ・補充員 木口　巌夫 氏、小松　武彦 氏 武者　清一 氏、田原　洋子 氏		6.18	18	17	17	0	指名推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

町政のここが聞きたい

６月定例会では今年で６年目となる休日議会を開催しました。

町民に開かれた議会を目指し、普段は仕事などで議会を見学できない方にも、議員と町当局のやり取りをじかに見ていただくことを目的としています。今回は９人の議員が町の事務の執行状況や、将来に向けての考えなどを質（ただ）しました。

鈴木邦昭議員 …… 7P
・通学路の安全確保について
・津波監視用カメラの設置について
・災害対応型マンホールトイレの設置は

高野　進議員 …… 8P
・放射能問題　学校給食は大丈夫か
・復興交付金の配分額が少ない　事業内容の見直しを

小野一雄議員 …… 9P
・防災集団移転　ヒアリングの集約は
・復興組合　賃金振込みを翌月にできないか

佐藤アヤ議員 …… 10P
・今後の介護予防事業は
・介護支援ボランティア制度の活用は
・学校の放射線教育は

鞠子幸則議員 …… 11P
・孤立・孤独死予防　情報提供の協定を結んでは
・いちご団地　苗の定植はいつ頃になるか

佐藤　實議員 …… 12P
・堤防と避難道路の進捗状況は
・防災行政無線の復旧は

島田金一議員 …… 13P
・荒浜の姿がなくなるのでは
・荒浜の人口動態は

髙野孝一議員 …… 14P
・防潮対策　かさ上げ道路完成までの安全対策は
・復興事業　地元企業の発展の方策は

鈴木洋子議員 …… 15P
・放射能　水道水に心配はないか
　農産物の検査は
　放射能に対するアンケートを

通学路の安全確保について

関係機関と協力して行う

問　亘理町内における通学路の危険な箇所及び、通学路の防犯灯設置状況等安全対策について。

教育長　各学校では通学路を指定する際には必ず調査します。交通量、交通施設の整備状況、川や踏切など危険個所の有無を十分考慮し教育委員会の承認を得て、各学校長が決定します。

また不備のあるところは、関係機関に改善の要望を出していきます。防犯灯については、行政区長の要望に沿って、設置しています。

歩行者と車がすれ違うのが困難な踏切（椿山）

津波監視用カメラの設置について

ライブカメラを活用

問　亘理町の沿岸部に津波監視用カメラを設置し、津波対策に万全な体制をつくるべきと考えるが。

町長　亘理町沿岸部への津波監視用カメラの設置については、設備に多額の費用が見込まれていて、現段階での導入は難しいのが現状です。ただし、わたり温泉鳥の海の屋上にライブカメラの設置協議をＮＨＫと進めています。

また、国土交通省の仙台河川国道事務所で、阿武隈川河口部と、山元町沿岸部にライブカメラを設置する計画があります。町としてもこれを活用し、関係機関と協議しながら検討していきます。

この津波監視用カメラについては、宮城県町村会として国に強く要望していきます。

災害対応型マンホールトイレの設置は

国土交通省と協議する

問　全国の自治体で災害時、被災者の方々のためにマンホールトイレの整備が進んでいる。亘理町でも災害避難場所となっている各学校等に災害対応型マンホールトイレの設置計画の考えは。

町長　今回の東日本大震災時、避難者は約６０００人を超え、汚水処理施設においては岩沼沿岸部にあります県南浄化センターが被災し、全く機能しませんでした。その後、屋外用仮設トイレを設置しましたが、学校等にマンホールトイレの設置については国土交通省と協議を重ね、設置する箇所、本管との高さの問題、勾配の問題等十分調査し、工法を含めながら検討します。

災害対応型マンホールトイレ

町政のここが聞きたい

一般質問　高野　進　議員

放射能問題

学校給食は大丈夫か

測定結果により使用

問　放射性物質検査機器の性能を検出下限値10ベクレル対応可能な機器にしては。

また放射能測定室には、検出下限値20ベクレルの機器が設置されている。飲料水の基準値は10ベクレルなので、測定できる機種にしてはどうか。

町長　国と調整をし、8月頃に県から新たな測定器が貸与されることになっています。

問　東京電力に、放射能対策室及び稲作農家へ配布する「塩化カリウム」の経費を請求してはどうか。

総務課長　検査室の改修費の100万円と、備品や消耗品等の経費50万円は県経由で消費者庁へ要求しています。

また東京電力へは第2回目として、約366万円を請求したいと考えています。「塩化カリウム」は国の補助金なので、東京電力には請求できません。

問　「阿武隈公園」の除染作業はいつから実施するのか。

町長　環境省、国土交通省と協議しながら、8月末頃には終わらせたいと考えています。

問　学校給食の食材は大丈夫か。

教育長　食材納入業者やメーカーから、測定結果を給食センターに報告をいただいています。

また給食センターでも放射能測定器を発注しており、独自で測定し、結果を保護者に公開していくということも検討しています。

子ども達の安全・安心のために（学校給食センター）

配分額が少ない　事業内容の見直しを

概算予算で計上　補正予算で対応

問　第1回目の震災復興交付金の配分額が少なかったのはなぜか。

町長　国と地方公共団体の考え方の違いもあったのではと思っています。

「いちご団地造成事業」については、1戸当たりの交付額が膨大になるということで、国の予算の中での配分額に納めていただきたいということで、最初の8割程度の内容にしたところです。

再質問　当初申請した震災関連事業は48事業で、予算は516億円。第2回目までの配分総額は288億円。事業全体の見直しが必要なのでは。

町長　当初予算は概算で計上しました。内容を精査し、今回の補正予算で対応しています。

一般質問　小野一雄　議員

防災集団移転

ヒアリングの集約は

全体で93％の意向確認

問　集団移転候補地が当初計画の5ヵ所から7ヵ所になった要因は。

町長　移転対象者の住民の意向を反映して7ヵ所になり、その後の意向調査等の結果で、最終的に6ヵ所にしました。

問　昨年2月から実施したヒアリングの集約は。

町長　2月28日から仮設住宅の集会所等を会場にのべ9日間、個別面談を行いました。

意向確認状況については5月24日現在で大畑浜地区96％、吉田浜地区94％、荒浜地区91％、全体で93％の意向確認ができました。

問　最終的な候補地の締め切りはいつか。

町長　町の計画では、地権者の方からの、用地の取得等を考えると7月末になります。

問　6つの団地の中から1ヵ所を、早く着工して、モデル団地をつくってはどうか。

町長　早くやれるところから用地買収、造成事業の内容について先行できる方法で担当課長に指示をしています。

防災集団移転候補地（浜吉田）

復興組合

賃金振込みを翌月にできないか

一部立替ができるよう県と調整中

問　被災農家支援事業について復興組合運営に係わる財源は。

町長　国・県を経由して町に交付される被災農家経営再建支援事業補助金で、全額国からの補助です。

問　作業労務賃金の振込み時期をなぜ翌月にできないのか。

町長　本年度については国からの補助金が4月以降になります。

働いている方に遅れて支払うのは適当ではないということから、町で一部立替ができるように現在、県と調整中です。

作業前の点呼確認

町政のここが聞きたい

一般質問

佐藤アヤ議員

今後の介護予防事業は

公民館等で出前講座を行う

問　介護保険制度の開始以降、年々介護給付費が伸びている。給付費の抑制のためにさらに予防重視の施策が必要である。そこで荒浜にあった介護予防拠点施設「亘理健康センター」の事業は今後どのように行うのか。

町長　震災で施設が被災し、使用継続ができません。現在は介護予防出前講座として、老人クラブや高齢者中心のグループを対象に、公民館や公会堂で講話や運動等を実施しています。

再質問　今後、別の場所に介護予防拠点施設を建設する考えはあるか。

町長　公共ゾーンに計画されている保健センターの中に介護予防機能を持った施設の整備を考えています。

介護支援ボランティア制度の活用は

65歳以上　560人が活動

問　高齢者自らが介護ボランティアの活動に参加することにより、介護予防につなげるための制度として、介護支援ボランティア制度がある。本町でも活用してはどうか。

町長　本町におけるボランティアの状況は、社会福祉協議会へ登録している方で、約680人となっています。そのうち65歳以上が560人で、多くの高齢者の方がボランティア活動をしています。今後、介護予防事業の効果や県内の福祉ボランティア等の動向を見ながら検討します。

花づくりボランティア（日就苑）

学校の放射線教育は

副読本を使って指導

問　放射線に対する学校の教育は。

教育長　各学校で土日を除いて毎日、放射線量を測定しています。どの学校も国の基準を下回っています。しかし、一部公園において基準値を上回っている場所もあることから、児童生徒・保護者にも放射線量の高い場所には近寄らないということを周知しています。

放射線の学習については、国からの副読本を使い、小学生は5年生・6年生を対象に年間3時間、中学生は理科の授業の中で取扱い、学習しています。

再質問　先生方は放射能に対する町の現状を理解しているのか。

教育長　月一回の校長会・教頭会を通じて、その学校の実情を踏まえた上で、子ども達に適切に指導をしていただきたいとお願いしています。

一般質問

鞠子幸則議員

孤立・孤独死予防

情報提供の協定を結んでは

関係機関と協議

問　孤立死・孤独死を防ぐために、新聞がたまっているなど異変を感じた時、町や警察、社会福祉協議会に連絡してもらうように、町・警察・社会福祉協議会・新聞販売店・郵便局などと協定を結んではどうか。

町長　日常生活の中で訪問することが仕事となっている新聞配達員や郵便局員の方々の情報は大変貴重な情報源です。

町内から孤立死、孤独死を出さないための対策として関係機関と協議していきます。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるような仕組みづくりが、最も大事だと考えています。

ボランティアによる仮設住宅内の地域交流事業（宮前仮設住宅）

いちご団地

苗の定植はいつ頃になるか

平成25年の９月頃

問　亘理町いちご団地造成事業について、平成25年9月までにいちごの苗の定植は可能か。

町長　亘理町の基幹作物であるいちごの早期復興を目指して、団地造成事業を推進していることから、来年9月頃までには、定植できるように努力していきます。

いちご団地造成事業の予算については、第二次の復興交付金において応分の交付が決定されています。

用地の借り上げ、造成、ハウスの建築については、来年の9月までに全ての団地で完成を目指しますが、そのためには、地権者など関係の方々、ＪＡ等と調整が必要です。

町政のここが聞きたい

一般質問　佐藤　實　議員

堤防と避難道路の進捗状況は

応急堤防完成　本堤防９月着工

問　海岸の仮堤防の完成と本堤防と避難道路の着工は。

町長　大津波により防潮堤が破壊したのは、荒浜海岸、大畑浜海岸、吉田浜海岸で延長５キロメートルです。昨年中に応急工事が完了して、本年の９月までに工事を発注する予定です。

　避難道路及び二線堤の機能をもった嵩上げ道路については荒浜地区から２路線、吉田地区から３路線の調査・測量・設計費の配分が認められたものであります。

問　被災地の防犯対策と防犯灯は。

町長　今回の津波被害の大きかった荒浜地区については少しずつですが戻ってきている方もいますので、警察や防犯実働隊の協力で、これまで以上に巡回活動をお願いしたいと考えています。防犯灯についてはＬＥＤ化を計画し、被災地優先に実施していきます。

荒浜海岸仮堤防

防災行政無線の復旧は

地区全域の修繕は８月完了

問　災害発生時の情報入手は。

町長　災害発生時において、正確な情報入手が最も重要であり、今回の大震災においても携帯電話やラジオが情報入手の有効な手段でした。しかし、災害が発生した直後に一斉に情報を伝達する方法としては、防災行政無線が最も適しているのではないかと考えています。

問　今回の津波で被害を受けた防災無線の復旧は。

町長　大震災により、荒浜地区及び吉田東部地区の沿岸部の防災無線の支柱そのものが倒壊した２局を含め、19基が使用不能状態になりました。

　現在デジタル化の更新工事と並行して、計画的に荒浜地区全域と吉田東部地区全域の修繕及びデジタル化に向けた切り替え工事を、７月から着手して、８月までに完了の予定で進めています。

修繕された防災無線

一般質問　島田金一　議員

荒浜の姿がなくなるのでは

国、県と協議しながら検討中

問　阿武隈川河口部荒浜地区災害復旧事業において計画後の背後地は、また居住区がどのようになるのか。実施計画を提示して町民の考えを聞きながら修正等を行い、合意形成を図る必要があるのでは。

町長　住民からは背後地の取り扱いなどさまざまな意見があります。今後住民アンケートを行い、住民意向を踏まえた事業を進めていきます。

　また、関連する阿武隈川堤防沿いのまちづくりも堤防用地の確保、県道荒浜港今泉線の用地の確保について協議をしていきます。

問　今回のアンケート調査の設問は、転出の意向を持った人が相当あるという仮定での質問になっているのか。

復興まちづくり課　今後の地域住民の生活再建や、事業の早い実施について、住民の意見を取り入れるための調査をしています。

問　荒浜地区の約40％が居住区を移動しなくてはならない。事業は整っても荒浜地区全体としての姿がなくなることが危惧される。

町長　用地の提供、背後地の土地利用の問題等、関係者の心を一つにして力をあわせ事業を展開していきます。

歴史ある荒浜の町並みを後世に

荒浜の人口動態は

荒浜小66人の減、荒浜中44人の減

問　被災した荒浜地区と吉田東部地区の人口は現在どのように推移しているのか。

町長　荒浜地区の人口は１７１４人、吉田東部地区の人口は３７１２人、町内に転居した人口は荒浜地区で１８１２人、吉田東部地区で１３９１人、災害以降町外に転出した人口は荒浜地区で５１７人、吉田東部地区で５４５人です。

問　今後の人口動態調査を行う考えはあるか。

町長　住民基本台帳を基本としています。

問　荒浜小、荒浜中、長瀞小の児童・生徒の在校生の動向は。

教育長　５月１日現在、荒浜小１６６人、荒浜中99人で23年と比べて荒浜小は66人減、荒浜中は44人減となっています。震災によっての移動など明確に把握することはできません。

町政のここが聞きたい

一般質問

髙野孝一議員

防潮対策

かさ上げ道路完成までの安全対策は

逃げることを周知徹底

問　荒浜地区、2号排水路沿いのかさ上げ道路の実施計画は。

町長　阿武隈川堤防の復旧工事と県道荒浜港今泉線の改良事業が行われます。それに併せて、かさ上げ道路工事を、3回目の復興交付金事業申請に含めるよう県に強く要望していきます。

再質問　完了の時期は。

町長　阿武隈川沿いの堤防、太平洋側の防潮堤それぞれ国・県の事業で27年度終了予定となっています。

再質問　まだ堤防・防潮堤・かさ上げ道路が整備されていない中、昨年3月11日と同様の津波が押し寄せた場合、徐々に被災地に戻って来ている住民への安全対策はどう考えているのか。

町長　逃げることが最も大事だと思っていますので、周知徹底を図っていきます。

問　吉田地区、橋本堀沿いのかさ上げ道路の実施計画は。

町長　第2回目の復興交付金で、延長4．2㎞の調査・測量・設計費が配分されました。

かさ上げ道路の早期整備を（荒浜　2号排水路沿）

再質問　総事業費と完成時期は。

都市建設課　34億460万円で、24年度から着工して30年度完了予定です。

再質問　県道亘理相馬線の復旧工事で、亘理町は現況、山元町はかさ上げ道路と聞いているが、整合性は取れているのか。

都市建設課　県と両町で調整をしながら工事を進めたいと考えています。

復興事業

地元企業の発展の方策は

企業と連携を深めたい

問　亘理での県の復興事業において、資材調達・盛土工事等、地元の事業所を活用すべきと考えるが。

町長　下請けや、部材の提供については企業の努力ではあるが、地元企業を優先的にお願いしたいという程度は申し上げたいと思っています。

再質問　地元企業もイチゴ生産と同様、町の基盤産業と考える。年1回の企業訪問だけではなく、情報交換の機会を増やし、これまで以上に復興事業で企業の発展に力を入れるべきではないか。

町長　今後も努力を重ね、各企業の方々と連携を深めたいと思います。

一般質問

鈴木洋子議員

放射能

水道水に心配はないか

大学の測定で不検出

問　阿武隈川では、放射性物質の影響によって魚から規制値を超える放射性セシウムが検出されたと聞いている。亘理町では水道水として一部逢隈地区と荒浜地区の水が阿武隈川から取水しているが、心配はないか。

町長　田沢浄水場は、原水を阿武隈川から取水しています。現在、1週間に1回、東北大学や民間検査機関で放射性物質の測定を実施し、その結果、不検出となっています。

問　原発事故によって高濃度の放射性物質が汚染地域から流れてきている。核物質、放射性物質が含まれている可能性を考える必要があるのではないか。

上下水道課　厚生省の指針では10ベクレル以下ということなので、国から示されている基準はクリアされています。

問　阿武隈川からの取水をやめて、七ケ宿の水を選択をする考えはないか。

上下水道課　町としては1週間に1回、阿武隈川の放射性物質の検査をしており、不検出なので、継続して取水します。

逢隈田沢浄水場

農産物の検査は

農協が実施している

問　農産物の検査体制はどうなっているのか。

町長　JAみやぎ亘理の農産物は、放射能物質検査機器により検査をしており、出荷制限を受ける放射性物質は未検出です。家庭菜園等で収穫した農産物の測定も開始しましたが、国の基準値の100ベクレルを大きく下回っています。

問　町として、放射能のマップなどをつくる考えはないか。

町長　地域がわかる等不都合が出ますので、これは控えさせていただきます。

放射能に対するアンケートを

不安解消に努める

問　町民とともに放射能について勉強したりして、「正しく恐がる」に向けて、町民の健康を守るべき。行政は、今後、予防原則をもって早急に対策を確立すべきと考える。町民の不安解消のために、放射能に関する意識調査やアンケートをしては。

町長　放射能の正しい知識を理解するための講演会、出前講座、住民説明会を実施し、放射能の影響に対する不安解消に努めます。アンケート調査については実施する予定はありません。

私もひとこと

復興を目指し頑張ろう

伊藤（いとう） 純一（じゅんいち） さん
（中町東 61歳）

私は6年前自衛隊を定年退官し、その後、健康維持のために、亘理町全域を走ってきました。

しかし、昨年3月11日の東日本大震災で、亘理町も大きな被害を被り、走ることが出来なくなりました。我が家の地震の影響は、屋根の瓦が崩れ、家の壁に亀裂が生じたぐらいで、大きな被害はありませんでしたが、津波で被災された多くの方々の事を思うと心が痛みました。

また、亘理町の被災地には、自衛隊が派遣され、被災された方々の救出と、復旧に全力で汗を流し働いて頂き、私も、OBの一人として、大変誇りに思いました。今年4月から、私も走ることを再開し今は、阿武隈川沿いを走っております。なかでも、大畑浜は、復旧工事中で立ち入り禁止ですが、いつかまた走れるようになることを願っております。

皆さん、健康のため体を鍛え、亘理町民一致協力して復興をめざし、明るく元気に過ごそうではありませんか。

阿武隈川堤防を走る

いつか恩返しができるよう

宍戸（ししど） 春彦（はるひこ） さん
（荒浜4丁目 42歳）

亘理町の歴史に残る大惨事であった東日本大震災は、かつて経験のない大きな災いを町内全域にもたらしました。

しかし、震災から16ヵ月経った今を振り返ると、この非日常的な体験を通して、多くの事を学ばせていただいたように思います。

具体的に言えば、会ったことすらない我々被災者に対し、世界中の方々からの多くの金銭や物資のご支援をいただいたこと。そして今もなお継続して、全国の方から心身ケアや仕事のご支援をいただいていること。

私が今回、これらの体験を通して感じたことは、数多くの「人の思いやり」です。これほど、人を思いやる気持ちや深さを感じたことは生まれて初めての経験でした。

これから亘理町は復興に向かっていくわけですが、これまでに受けた人の想いに感謝し、いつの日か恩返しできるよう、ひとりの亘理町民として私自身、頑張っていきたいと思います。

公共ゾーン仮設店舗

編集後記

「議会だより」の編集メンバーが入れ替わって3回目の紙面づくりでした。やはり新人議員には大変苦労します。

今回は土・日曜日に一般質問を行う「休日議会」を実施した6月定例会の中身をお届けしました。

休日だから、いつもと違う人が傍聴に来るのかな。等と思ったりして、いつもとは違う緊張感をもって、一般質問をしました。

編集委員のうち3人は7月に開かれる研修会に参加し、勉強して、よりよい紙面づくりに努めます。（Y・S）

議会広報調査特別委員会
委員長 渡邉 健一
副委員長 鈴木 邦昭
委員 鈴木 洋子
髙野 孝一
鈴木 高行
四宮 規彦

・発行 亘理町議会 〒九八九―二三九三 宮城県亘理郡亘理町字下小路七―四 ☎〇二三―三四―〇五〇六
・編集 亘理町議会広報調査特別委員会 ・年四回発行 ・印刷 株式会社東北プリント

GREEN PRINTING JFPI P-B10021
RICE INK® この広報誌は、米ぬか油を使用した環境配慮型「ライスインキ」で印刷しています。

議会に関する詳しい内容は亘理町のホームページからもご覧になれます。
http://www.town.watari.miyagi.jp/